

ディプロマ・ポリシー	カリキュラム・ポリシー	アドミッション・ポリシー
<p>武庫川女子大学は、「立学の精神」にうたわれる“高い知性”、“善美な情操”、“高雅な徳性”を兼ね備えた有為な女性を育成するため、本学の教育目標に掲げる以下の資質・能力を身につけ、所属する学部・学科での卒業が認定された者に、専門分野の名称を付記した学士の学位を授与します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 自ら課題を見つけ、解決のために実践できる。 2. 主体的に学ぶ習慣、論理的に考える力を身につけている。 3. 幅広い教養に裏付けられた豊かな心を身につけている。 4. 高い倫理観に支えられた実践力・指導力を発揮できる。 5. 専門的知識を修得し、それらを活用することができる。 	<p>武庫川女子大学は、ディプロマ・ポリシーに掲げる資質・能力を持った人材を育成するために、以下に示す科目分類を設け、体系的かつバランスのとれた教育課程を編成し、個々の授業を通じて学生の資質・能力を高めます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 共通教育科目 幅広い教養と的確な判断力を養うとともに、心の豊かな人間性の涵養を図ることを目的とした授業を開講し、学生は自らの選択のもと、主体的に学びます。 また、総合大学の特長を活かし、様々な専門分野を背景に持つ学生同士が、答えの無い課題に取組む授業を展開します。 2. 基礎教育科目 専門教育への導入的役割を担う授業を開講します。全学的に実施している「初期演習」では、学生が主体的に学び、実践する姿勢を身につける他、学生相互の豊かで円滑な人間関係の基礎を養います。「初期演習」以外の科目では、専門分野の学びの基礎となる知識の修得と倫理感を育成する教育を行います。 3. 専門教育科目 専門知識を学び、学んだ知識を活用する能力を身につける授業を開講します。各科目で学んだ知識を統合し、自らの考えを論理的に説明するとともに、実践に繋げていける能力を修得します。専門教育科目で学んだ知識、技術を統合し、最終的には卒業論文・研究・演奏・制作として表現します。 4. 教職、司書、司書教諭および学芸員に関する科目 各学部・学科において主として育成する資質・能力に加え、将来の進路を視野に入れた資格関連科目を開講し、それぞれの資格と結びつく専門的職業に必要な知識と能力を修得します。 5. 特別教育科目 各学部・学科において主として養成する資質・能力に加え、学生が社会とのつながりを強く意識し、女性として社会で活躍するためのキャリア形成を補完・拡充します。 <p>教育課程の編成にあたっては、開講学年・配当学期・科目ナンバリングをあらかじめ示すことで科目間の順次性・体系性を担保します。また、開講科目に設定される知識と技術を修得し、それらを活用するための能力を育成するために授業の運営は、講義だけにとどまらず、学生を能動的な姿勢に導く教育手法を活用します。</p> <p>各科目の学修成果の測定と評価にあたっては、あらかじめ評価指標を明示し、適切・公正な評価を実施します。また、卒業論文・研究・演奏・制作をもって教育課程を通じた学修成果の総括的評価を行います。</p>	<p>武庫川女子大学は、“高い知性”、“善美な情操”、“高雅な徳性”を兼ね備えた有為な女性を育成することをうたった「立学の精神」とそれに基づく「教育目標」に賛同し、かつ卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）に掲げる資質・能力を養うため、主体性・論理性・実行力を培う教育を実現する教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるのに必要な、次に掲げる知識・技能・資質・意欲を入学前に備えた女性の入学を求めます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 高等学校までの教育課程を偏りなくまた幅広く修得し、十分な基礎学力を有している。 2. 積極的に勉学に励む姿勢を持っている。 3. 将来に向けて明確な見通しと目的意識を確立している。 4. 豊かな感性と公平な視点を持ち、多様な人々と協同して学ぶ態度を有している。 <p>また、開設する学部・学科のそれぞれの専門性やディプロマ・ポリシーに掲げる資質・能力を持つ人材像に対応する、透明性の高い公正な入学者の選抜試験を以下の複数の機会および方法で行います。</p> <p>〈一般選抜に属する選抜〉 幅広い基礎学力を有し、将来への目的意識を重視した選抜方法です。専門分野を学ぶために必要な基礎学力を測る3科目または2科目の学科試験によって能力を判定します。（音楽学部は実技を含みます。）また、一部入試方式では、独立行政法人大学入試センターの実施する試験のうち各学科が指定する教科・科目の成績によって能力を判定します。</p> <p>〈総合型選抜に属する選抜試験〉 大学教育を受けるために必要な知識・技能、思考力・判断力・表現力を適切に評価するため、入学志願者の基礎学力および学習に対する意欲、目的意識等を、総合的に評価・判定する選抜方法です。学力検査、調査書、スポーツ・演奏活動に関する実績や、英語の資格・検定を重視した各種の選抜方法があります。</p> <p>〈学校推薦型選抜に属する選抜試験〉 出身高等学校長の推薦に基づき、大学教育を受けるために必要な知識・技能、思考力・判断力・表現力も適切に評価するため、高等学校の学習成績の状況等を記載した調査書等によって、能力を判定します。</p> <p>〈社会人特別選抜試験〉 志願者が、社会人として活動した後も学問研究を希望する姿勢を重視した選抜方法です。書類審査、学力試験、小論文、面接によって総合的に能力を判定します。</p> <p>〈外国人留学生選抜試験〉 入学時に18歳以上で外国籍を有し、外国における学校教育を12年の課程を修了した者等で本学の「立学の精神」に賛同する女性を対象とした選抜方法です。</p> <p>〈編入学試験〉 大学又は短期大学卒業生および卒業見込者で、専門分野について更に高度な学問研究を希望する者を対象とする入試です。ただし、音楽学部への編入学は、音楽系大学に2年以上在学し所定の単位を修得した者および単位修得見込者又は音楽系短期大学卒業生および卒業見込者を対象、食物栄養科学部への編入学は、栄養士資格取得者および取得見込者を対象とします。編入学する前の短期大学等在学中の学業成績および筆記試験、面接によって能力を判定します。</p>